

教員名	大塚 常樹 (OTSUKA Tsuneki)
所 属	文教育学部言語文化学科日本語・日本文学講座
学 位	
職 名	教授
URL / E-mail	

◆研究キーワード

日本近現代文学 / 日本近現代詩 / 文学理論 / 言語戦略論 / 宮沢賢治

◆主要業績

総数 (4) 件

- ・「かしはばやし」の深層構造 「十力の金剛石」と比較しつつ
「国文学解釈と鑑賞」151頁～154頁
至文堂 2006年9月
- ・書評「古閑章『梶井基次郎の世界』」
「日本近代文学」第75集 338頁
日本近代文学会 2006年11月
- ・ビブリオグラフィー作成
「宮沢賢治 annual16号」
宮沢賢治学会イーハトーブセンター 2006年4月
- ・指導書
「谷川俊太郎「二十億億光年の孤独」」
「吉野弘「I was born」」
第一学習社「現代文」指導書
2007年1月

◆研究内容

- ①日本近現代詩
金子光晴、草野心平、萩原朔太郎、大手拓次、宮沢賢治、谷川俊太郎など、幅広く論じている。
- ②宮沢賢治研究
仏教、科学、物語構造論、植物学、神話学など、幅広い見地から研究している。
- ③文学理論
ナラトロジー（語り論）、物語構造論、言語戦略論、修辞学など、文学テキストの構造と戦略について研究している。

◆教育内容

- ①日本近代文学論演習（現代）
1920年代以降の日本の作家や詩人とその代表作、問題作を取り上げて、発表雑誌や発表状況、同時代評、研究史、テキスト構造分析、文化背景、メッセージの抽出など、細部にわたるチャート表に基づいて、学生たちに調査分析と批評を行わせている。
- ②日本文学
1年生向けの一般教育授業。題名や地名、語り手の設定、再現性、コミュニケーションの方法、深層構造などの視点から大学生らしい文学の読み方を学ばせている。
- ③日本現代文学演習（大学院）
文学理論書の輪読を行い、同時並行して理論に基づいた個別テキストの分析を行わせている。
- ④日本近代文学史論（現代）
1920年代以降の日本近代現代文学の歴史を、代表作や詩人歌人などとその問題作品を選んで、学生に指定の項目を調査させて発表させる参加型の授業を行っている。

◆共同研究可能テーマ

- ・日本近代詩現代詩
- ・言語戦略論
- ・物語論

◆将来の研究計画・研究の展望

①言語戦略論

文学にとどまらず、政治やマーケティングなどにおける言語の戦略性について研究していきたいと思っている。

②日本近現代詩の総合的な研究

現在三省堂から「日本現代詩辞典」を作成中。編集委員として項目選定、執筆者選定、重要項目執筆、編集などに携わっている。

◆受験生等へのメッセージ

私の最近の一番の関心は言語戦略論です。

商品の名前やイメージで売れ行きが劇的に変わったり、同じことを言うのに言い方次第で相手の受け取り方が変わるなど、言語は相手を動かす力を持っています。私は文学の研究者ですが特に詩の構造分析が得意ですので、その応用としてのコミュニケーションにおける言語戦略について、今後集中していきたいと思っています。

私の授業は、文学作品内の題名や登場人物の名前、年齢や職業、容姿などの設定がもたらす意味にこだわりますし、会話の引用方法や、情報を提供している主体（語り手）などの情報戦略にもこだわります。

また、言語は約束事としての面も強く持っていますので、ある時代や地域の思想や常識などの強い影響を受けます。このような文化状況の影響についても学生諸君に関心を持っていただくよう、授業では時事ネタを多く織り込んでいます。

また私は植物学や天文学、音楽などにも関心がありますので、理系の学生や芸術系の学生にもよくわかる授業を心がけています。